



地域日本語支援ニュース こだま 第 397 号

2021.2.25



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部: <https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>

==== 目次 =====

1■地域の活動紹介：埼玉県春日部市から■

春日部に外国人が活躍できる場を作りたい

武里日本語教室 代表 仙部 孝一

2■お知らせ■

AJALT の著作教材を活用した

「日本語教師のための教え方講習会（ビジネス中上級）」（オンライン）

開催のお知らせ

=====

1■地域の活動紹介：埼玉県春日部市から■

2014 年 3 月、タイの難民キャンプから第三国定住(注 1)難民として来日したミャンマーの 4 家族が、RHQ の定住支援プログラム(注 2)を経て、埼玉県春日部市に定住しました。そして、定住後の日本語学習のために、同年 7 月から、春日部市国際交流協会の日本語教室が支援を開始しました。2016 年 4 月からは、同教室のスタッフ有志が支援を引き継ぎ、武里（たけさと）日本語教室をスタートさせ、

現在では、武里団地やその近隣の外国人が集う場となっています。
教室代表の仙部（せんぶ）孝一さんにご寄稿いただきました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

春日部に外国人が活躍できる場を作りたい

武里日本語教室 代表 仙部 孝一

◆教室の出だしは第三国定住難民支援から

こんにちは。武里日本語教室です。

武里日本語教室は、埼玉県春日部市の UR 武里団地の中にあります。UR 武里団地は 1966 年開始、約 6000 戸の「東洋一の団地」と呼ばれていました。「クレヨンしんちゃん」のモデルとなった幼稚園もここにあります。

武里日本語教室は団地内の武里大枝公民館で毎週日曜日 10:30-12:30 の 2 時間活動しています。地域在住のボランティアスタッフがマンツーマンで日本語を教えています。2014 年 7 月から、第三国定住難民として来日した 4 家族の子どもから大人に対して日本語教育を開始し、2016 年 4 月より、第三国定住難民だけでなく、地域の外国人も教室に参加するようになりました。徐々に学習者が増え、2020 年は毎回約 10 名の学習者が参加しています。学習者は、アジア特にベトナム人が多く、団地にアフリカのコミュニティがあるため、アフリカ人も多いです。ほとんどが春日部市近隣在住の学習者ですが、遠いところでは東京の葛飾区から、インターネットでこの教室を探してやってきたという学習者もありました。現在コロナで埼玉県や東京都、千葉県では日本語ボランティア教室が休講となっているところが多いためと思われます。

◆「学習教室 たけのこ」と連携した教科学習支援

小中学生の日本語教育及び学校教科の支援は、同じ公民館、同じ時間に開催している「学習教室 たけのこ」が行っています。「学習教室 たけのこ」とは常に連携して第三国定住難民 4 家族とその他の地域在住外国人家族の学習を支援しています。

<https://www.facebook.com/JapaneseClassTakesato/posts/896837054187670>

武里日本語教室では、学習者の希望に沿って、英語を教えたり、自動車免許の勉強、最近では特定技能（介護）の勉強も手伝ったりしています。自動車免許の勉強では、埼玉県三郷市在住の第三国定住難民の方たちにも学習支援を行いました。

◆関東在住カレン族の新年パーティーを開催

2019年12月には、関東在住のミャンマーのカレン族(注3)の新年パーティーを開催しました。3ヶ月前の9月初め、教室に通うカレン族の方から例年開催している東京の会場が予約できず困っていて、春日部で借りられる会場は無いかということでした。地元公民館に交渉して、市主催の行事で無料で会場が使えることになりました。関東在住のカレン族の踊りや歌を春日部市民の多くの方達に見て頂くことができました。カレン族の歌や踊りを見るのは初めてと言う観客が多く、とても喜んで頂けました。

<https://www.facebook.com/JapaneseClassTakesato/posts/619573055247406>

このほかにも、「学習教室 たけのこ」と合同でクリスマスパーティーを開催したりしましたが、2020年は新型コロナウイルスの影響で、残念ながらこれらのイベントは開催することができませんでした。4月と5月は、利用している公民館が全面利用禁止となったため、リモートレッスンを希望する学習者にスタッフの自宅からfacebook messengerやZoom等を使って、リモートレッスンを行いました。2020年6月から公民館が利用可能となり、現在まで教室開催を続けています。

◆近隣の日本語教室とも連携

近隣のボランティア日本語教室（春日部日本語教室、杉戸日本語教室、幸手日本語教室）とも常に連携をとっており、武里日本語教室のスタッフが足りないときは、春日部や杉戸、幸手のスタッフに応援をお願いしています。

今年（2021年2月14日）に予定していた、「武里、春日部、杉戸、幸手 日本語教室合同のスピーチ大会」は残念ながら中止となりましたが、コロナが終息したあとは是非またこのスピーチ大会を開催したいと思っています。さら

に、外国人の料理教室なども開催して、地域住民と外国人が交流できる場も作っていきたいと考えています。

武里日本語教室

ホームページ

<https://takesato-japaneseclass.amebaownd.com/>

facebook

<https://www.facebook.com/JapaneseClassTakesato>

注1 第三国定住とは、難民キャンプなどで一時的な庇護を受けた難民を、当初庇護を求めた国から新たに受け入れに合意した第三国へ移動させ、長期的な滞在権利を与えることを言います。日本は、この制度によるミャンマー難民の受け入れを2010年から開始し、これまでに194名を受け入れています。

注2 RHQ（難民事業本部 Refugee assistance headquarters）は、政府から委託を受けて、難民が日本で自立定住していくための支援を行う組織として、（公財）アジア福祉教育財団の中に設置されています。

RHQでは、条約難民と第三国定住難民を対象に、日本語教育、生活ガイダンス、就労支援他の定住支援プログラムを実施しています。

※条約難民とは？

外務省 HP 国内における難民の受け入れ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/nanmin/main3.html#section1>

注3 カレン族は、タイ北部・西部から、ミャンマー東部・南部にかけて居住する、カレン系言語を母語とする山地民の総称です。
